

# ピラ灌漑事業( X )



対象灌漑地域の幹線用水路

## 借款概要

承諾額/実行額	10,248百万円/8,971百万円
借款契約調印	1990年12月及び1992年10月
借款契約条件	金利2.5%/2.6%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1997年12月及び1998年11月

## 事業概要

南スラウェシ州中部ピラ川流域の水田地帯に第1期は主として頭首工・ダムおよび幹線水路、第2期は主として支線水路、末端配水施設、幹線排水路および支線排水路等の灌漑施設を建設することにより年間を通じた灌漑を可能とし、米の増産を図るもの。

## 評価結果

1996年に施設が供用開始され、翌1997年は例年より長く乾期が続いたことや通貨危機の影響により作付面積は伸びなかったものの、その後は順調な推移を見せている。2000年における雨期の作付率は計画比で115%、乾期は103%に達している。土地生産性については、アプレイザル時点において雨期3.1万トン/ha、乾期2.8トン/haであったものが、事業完成後は、その約2倍に向上した。また、年間米生産量も10.6万トンに達した。

灌漑施設の機能の面で問題が顕在化していないが、主に維持管理不足から施設の現況につき一部機能が損なわれている施設がある。各施設の現状を精査したうえで適切な対策を施すと共に、維持管理にかかる政府予算の確保や、水利費徴収体制の強化など、維持管理体制の安定・強化が必要である。